

おいしい食と
ゆたかな環境を
未来へつなぐ

こんなイベントも同時開催!
映画半券で旬の有機野菜が当たる!!
◇オーガニックマルシェ有機野菜等の直売&生産者との
交流会・シンポジウム
◇「自然と暮らす、地球と遊ぶ!!」
オーガニックフェスタ 2010 紹介など



国際オーガニック映画祭

Organic agriculture, environment and life for future in Kagoshima 2010

10/8(金) 9(土) 10(日)

ガーデンズシネマ(マルヤガーデンズ 7F)

鹿児島市呉服町 6-5(天文館いづろ通り) TEL&FAX. 099-222-8746

1 回券 (A~E の中から 1 回) 前売 600 円、当日 700 円 ※eatrip には適用しません
 全作通し券 (A~E 全て可) 前売 1,500 円、当日 1,800 円 ※eatrip には適用しません
 eatrip 上映券 (特別上映券) 前売 1,000 円、当日 1,300 円

主催: NPO 法人鹿児島県有機農業協会

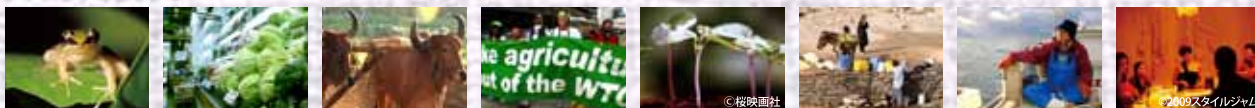
共催: 鹿児島コミュニティシネマ


協力: 国際有機農業映画祭運営委員会 / 日本有機農業研究会 / ポレポレタイムス社

後援: 鹿児島県・鹿児島市・始良市・南さつま市・鹿児島大学・南日本新聞
 KYT 鹿児島読売テレビ・KKB 鹿児島放送・KTS 鹿児島テレビ・MBC 南日本放送
 NHK 鹿児島放送局・エフエム鹿児島・鹿児島シティエフエム

【オーガニック国際映画祭プログラム】

10/8 (金)	10/9 (土)	10/10 (日)
11:15~12:35 eatrip (78分) ※特別上演	11:15~13:00 石おじさんの蓮池 (24分) ヒト・ウシ・地球 (58分)	11:15~12:45 食の未来 (90分)
A 13:30~14:30 アフガンに命の水を (56分)	D 13:30~15:10 祝の島 (105分)	C 13:00~14:40 石おじさんの蓮池 (24分) ヒト・ウシ・地球 (58分)
B 14:50~16:20 食の未来 (90分)	E 15:30~16:40 土の世界から (32分) あぶない野菜 (30分)	A 15:00~16:00 アフガンに命の水を (56分)
D 16:50~18:35 祝の島 (105分)	B 17:10~18:40 食の未来 (90分)	E 16:30~17:40 土の世界から (32分) あぶない野菜 (30分)
C 18:50~20:30 石おじさんの蓮池 (24分) ヒト・ウシ・地球 (58分)	A 19:00~20:00 アフガンに命の水を (56分)	D 18:20~20:00 祝の島 (105分)



お問い合わせ  NPO法人鹿児島県有機農業協会

TEL.099-258-3374 FAX.099-258-2204
E-mail.koaa@koaa.or.jp

前売りチケットの受付

- 鹿児島コミュニティシネマ ●地球畑各店舗
- 山形屋プレイガイド ●コープかごしま

上映作品紹介

国際オーガニック映画祭 opening 記念上映



eatrip ー食べるということこそ、生きること「人生とは食べる旅」ー

“食べる”という欲求を通して、複雑な時代をシンプルに生きる人たちと出会い、生きるという事を知る為の旅に出る事からこの映画は始まる。各界で活躍する人たちにインタビューを行い、それを通じて過去と未来をつなぎ、現代の日本という時代性を浮き彫りにしていく。浅野忠信(俳優)、UA(歌手)、千宗屋(茶道)、高橋皖司(丸十高橋/築地魚河岸市場鮮魚仲買)、秋山鐘一郎(鯉節問屋)など、多彩なゲストに取材を行っている。

◇2009/日本/78分

<http://eatrip.jp>

program-A



3日間
公開

A アフガンに命の水を ーペシャワール会 26年目の闘いー

2003年3月から、6年の歳月をかけ全長24キロの用水路を拓いた一人の医師と数十人の日本人青年達。そして共に働いた延べ60万人のアフガン人。

戦乱と干魃のアフガニスタンに3,000haの田畑が甦る。

◇2009年/56分

program-B



3日間
公開

B 食の未来

食料システムは、かつてない変化に曝されている。だが、その影響がどれほどのものかほとんどの人は気付いていない。農場から食卓まで、世界の食に企業の支配が着実に進んでいる。最大の懸念は遺伝子操作で環境や生物全体に計り知れない影響を及ぼす可能性があるということだ。規制のあり方、農業や消費者、健康や道徳の問題を問い直す必要がある。

◇2004年/アメリカ/90分

program-C



3日間
公開

C ヒト・ウシ・地球

ーバイオダイナミック農法の世界ー

近代の工業的農業が地球を壊している。砂漠化、地下水の枯渇、農業・化学肥料による化学物質汚染が食品、海洋生態系、土壌に水、大気へと広がる。地球の生態系が今悲鳴を上げている。人間の欲望は収まるところを知らず、地球の能力をはるかに超えている。多国籍企業と遺伝子組み換え農業に蹂躪されるインド農民をバイオダイナミック農法で救うー老人の決意と行動、そして変わりゆくインド農民の姿を描く。

◇2006年/ニュージーランド/58分



3日間
公開

C 石おじさんの蓮池

台北の郊外、ハスの花を栽培する石おじさんは、どうしても農業をあきらめられない。蓮池に生息する希少な台北カエルを絶滅から救うため、説得を続ける動物学者たち。支援に加わった有機農業団体の青年と、ハスの花を購入し、石おじさんを支える都市の消費者たちの協力が台北カエルの危機を救う。

◇「EARTH VISION 第15回地球環境映像祭」入賞作品。

◇2005年/台湾/24分

program-D



3日間
公開

D 祝の島

山口県上関町祝島。瀬戸内海に浮かぶこの島で人々は、海からもたらされる豊饒な恵みに支えられ、岩山を開墾し、暮らしを営んできた。人間の営みが自然の循環の一部であることが、祝島でははっきりと見える。1982年、島の対岸4kmに原子力発電所の建設計画が持ち上がった。1000年先の未来が今の暮らしの続きにあると思うとき、私たちは何を選ぶのか。いのちをつなぐ暮らし。祝島にはそのヒントがたくさん詰まっている。

◇2010年/日本/105分

program-E



©桜映画社

10/9(土)
10/10(日)

E 土の世界から

地球上での有機物の生産者たちである植物を養い、生命の源というべき食べ物の生産の基礎となっている土。土の持つ豊かさを、森の土の成り立ちから見ていく。大地に落ちた落葉は、土の中の小動物や微生物によって分解され土に帰る。有機物に富んだ土は、柔らかく隙間のある構造になっている。土の中の世界を電子顕微鏡や微速度撮影を駆使したマイクロ映像によって明らかにしていく。

◇1992年/日本/32分



10/9(土)
10/10(日)

E あぶない野菜

安い輸入野菜は本当に安全? 輸送にかかる環境負荷は? 利潤を追求するグローバルなアグリビジネスの思惑と日本の農業の現状、私たちの食生活を考える。

◇2002年/日本/30分